

令和 8 年度持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進
花き全国技術実証 2026 協議会
公開セミナー開催要領

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
野菜花き研究部門 育種・生理基盤研究領域長 久松 完
(花き全国技術実証 2026 協議会 (事業責任者))

1. 趣旨

令和 8 年度持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進
(花き全国技術実証 2026 協議会)に係る公開セミナーを開催する。

本補助事業では、試験研究機関主導で 1)【気候変動にともなう温度上昇対策に資する環境調節技術および計画生産・供給/産地連携の実証】および 2)【土壌病害対策(土壌還元消毒)技術の実証】等について、協議会構成メンバーの連携の下、技術実証に取り組むとともに、実証技術導入による生産性、収益性向上効果などの客観的分析に取り組み、国の提示する「病虫害被害の軽減や異常気象への対応」、「花き生産の効率化や高品質化への対応」、「花きの流通の効率化や高度化への対応」、「需要構造の変化への対応」等に資する技術の評価と普及を目標としている。

そこで、本公開セミナーでは、花き分野における気候変動への対応に資する技術の利用にあたり、適用技術の導入事例紹介とともに、関連する技術の特性、植物の特性等について理解を深める。あわせて、経営規模に見合った適正技術の導入・普及に向けて、今後の展望や必要となる技術開発の方向性について討議する。

2. 主催

農研機構 野菜花き研究部門 (花き全国技術実証 2026 協議会 (代表機関))

3. 開催日時

令和 8 年 10 月 27 日 (火) 13:15~16:45 (受付: 12:30~)

4. 開催場所

文部科学省研究交流センター 国際会議場
茨城県つくば市竹園 2-20-5

5. プログラム

別紙の通り

6. 参加費・参加申し込み

【無料】 申し込み期限: 令和 8 年 10 月 20 日(火曜日)

7. 参集範囲

国公立試験研究機関担当者、都道府県専門技術員・普及指導員等、大学・民間団体・企業等の研究者、花き産業関係者、その他農研機構野菜花き研究部門所長が必要と認める者

8. 問い合わせ先 (事務局)

農研機構 野菜花き研究部門 育種・生理基盤研究領域 久松 完

e-mail: sh-kakirenkei(at)naro.go.jp

(※メール送信の際は(at)を@に置き換えてください。)

【プログラム】

令和８年度持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進
花き全国技術実証 2026 協議会 公開セミナー

令和８年１０月２７日（火） 13:15～16:45 （受付：12:30～）
文部科学省研究交流センター 国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-5）

はじめに 13:15-13:20

話題１： 13:20-14:30

酷暑下での各種被覆資材の栽培環境改善に対する効果と植物の生育への影響（仮）

奈良県農業総合研究センター 虎太有里
農研機構 農業環境研究部門 福岡峰彦

話題２： 14:30-15:40

気候変動下でのキク安定計画生産に向けた環境改善技術の効果と関連するキクの開花特性について（仮）

鹿児島県農業開発総合センター 郡山啓作
農研機構 野菜花き研究部門 中野善公

休憩：15:40-15:50

話題３： 15:50-16:40

土壌病害対策に資する Fusarium 等土壌病害病原菌に関する話題提供（仮）

農研機構 九州沖縄農業研究センター 川部真澄

総合討議：16:40-16:50